



編集兼発行所 須坂市公民館 塩川町分館  
発行責任者 樋口陸夫  
印刷所 佐藤印刷(株)

町勢  
世帯数 1,089戸  
人口男 1,343名  
女 1,396名  
計 2,739名  
12月1日現在

### 退任の挨拶

分館長 樋口陸夫

月日の流れは早いもので今年もあと僅かとなって参りました。区民の皆様には一年間、分館活動にご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。重ねて分館活動にご理解いただいた区役員の皆様、運営委員の皆様、に厚く御礼申し上げます。

一月六日に前役員から激励の引継を受けないと緊張の中、分館活動をスタートしました。年間事業計画を立て第一回分館運営委員会での承認を得て各種の事業を進めて参りました。春の「文化祭」では多くの皆様から素晴らしい手芸・写真・絵画・書道等の作品

を出展していただき見学者の感動を呼んでいました。また演芸の部では歌や踊りをはじめ稽古を重ねた舞踊、謡曲、楽器演奏、獅子舞等を熱演していただき会場と一体となって交流の場を楽しんでいただきました。

又、夏の「盆踊り子ども大会」は不安定な天候の影響を受け突然の雨により余儀無く公会堂内に会場を移しての盆踊り大会となりました。健康講座・生涯学習

講座・人権問題学習会等を実施して参りました。参加者数は少なめでしたが、各種講座・学習会に参加された皆様には見聞を広げていただきました。主催者として参加していただく工夫が必要であったのではないかと反省しています。

近年、住民同士の付き合いや助け合いが確実に減少しているように思います。分館活動は地域コミュニティの最先端と二テイルの最先端と言われています。来年度は岡田新分館長を中心に分館活動を更に盛り上げて頂くことを期待しております。

まだ暑い日が続いていた9月8日(土)、生涯学習講座が開かれました。市生涯学習スポーツ課より学芸員の村木真由さんが来られ、「須坂・いま・昔」の題で講義頂きました。

学生の頃ソフトボール部でピッチャーをされてたそうで、塩川ソフトボールに入られ活躍しているそうです。素敵な方が塩川にたくさんおられます。今回は市博物館所蔵の写真とフィルム

### 公民分館活動を省みて

区長 上澤正茂

平成最後の年もあと少しとなりましたが、区民の皆様におかれましては、区行政、分館活動に大変ご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本年度の公民分館活動は、町別卓球大会で、いつものレギュラーメンバーの大活躍による八年連続優勝で始まりまし

た。日野地区卓球大会では、Bブロック優勝となりました。来年からは、Aブロックでの対戦となります。大活躍に期待するところです。

春の文化祭では、大勢の区民の皆様、各種団体の皆様に参加を頂き、大変盛り上がる事が出来ました。

盆裁、写真、水彩画、切絵、絵手紙、手芸、焼物などや、保健指導員の活動報告パネルが展示され、素晴らしい作品を見させて頂きました。

午後からの芸能の部では、公民分館役員、区、保健指導員の体操や出し物、謡曲、舞踊、長生会による梅干しの歌、神楽保存会の獅子舞、浦安の舞など、楽しく鑑賞しました。

交通安全講座では、高齢者の交通安全全「左三秒見て確認し、そして右左確認」の励行を行い事故に合わないよう注意をすること、特殊詐欺防止には留守番電話にして置くこと、お

金のことを言われたら家族、知人に相談するなどの話がありました。健康講座では血糖値とメタボの講話で食事の時、野菜を先に取り、運動と食事の健康管理することが成人病の秘訣の講話。研修旅行では、晴天の暑い中の松代史跡巡り、菱野温泉での懇親会では、美味しい料理と、美酒に酔い、温泉にゆっくりは入れなかったのが、心残りでした。

涼盆踊り子供大会で

は、夕方、開催間近の突然の夕立により、公会堂内で開催されました。

子供大会は一階で、かき氷、ポップコーンや、ジュースなど、振る舞い酒にきゅうりの漬物、盆踊り大会は二階大広間で行われ、須坂小唄、炭坑節、木曾節、きよしのズンドコ節などの盆踊りが盛大に執り行なわれました。

生涯学習講座では、塩川町の住人で須坂市の村木学芸員様から、昔の製糸の町の映像や古い写真で、現在の町並みの

比較が出来、勉強することが出来ました。このように各行事に、役員、各団体の役員の皆様、多くの区民の皆様が大勢参加し、交流を持つことが出来ました。

区民の皆様が繋がりが深まり、公民分館役員の皆様方のご尽力のお陰と改めて感謝申し上げます。最後に公民分館の益々のご発展と区民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

終わりにスライドで当時とほぼ同じ位置からの写真を見比べ



### 「生涯学習講座」

公民分館主事 岡田茂樹

昭和初期にかけて賢明に生きてきた人々の様子が見られました。須坂の発展の土台を築いた、又日本の産業の基となった製糸産業の最盛期の様子が映像を通して伝わってきました。絹糸は輸出額の6割を占めていたと聞き

ました。当時、工女さんは6千数百人働いていたそうで、賃金は低かったそうですが、その労働力・エネルギーで須坂は早くから鉄道・電気・電話が敷かれ(米子に発電所も造った)、銀行・病院

ができました。須坂小唄も山丸組の工場歌だった。その勢いの凄さがうかがわれます。

てみました。私も歳をとったせい、昔の風景には温かみがありました。現在はちよつとさびしい感じがありました。官営の富岡製糸場へ糸を紡ぐ技術を習いに行つて、長野の地へその操作、工女、女性の生き方まで教えてくれた人知つてますか? 『和田英』さんです。映画にもなつたそうで、松代藩横田家の娘さんで11、20歳の女子16人で群馬富岡に勉強に行つて、県下各地へその技を伝えたそうです。一番工女(成績トップ)になられ、マスケットキャラクタ『お富ちゃん』のモデルだそうです。私達も頑張ります。



### 第2回人権学習会に参加して

人権同和担当主事 清水 三奈子



去る10月27日(土)に今年度2回目となる人権問題学習会が開催されました。当日は須坂市議会事務局の加藤剛様をはじめ墨坂中学校の竹内慎二先生、人権教育推進員の瀧澤延行様、人権交流センター指導員の山岸周一様、日野地域公民館長神田常晴様をお迎えして大勢の区民の皆様と学習する機会を得ました。始めの加藤様のご挨拶の中では差別が未だなくならず、インターネットの普及により形を変えていく現状と、人権問題を自分ごととして学習していく事の大切さを強調されたいました。次に竹内先生より墨坂中学校の人権学習への取り組みと課題を各学年ごとにお話ししていただき、子どもたちの学びについて知ることができました。その後「夫婦で

差別と闘います」と結婚問題」というDVDを観ました。以前Dに被差別部落の出身者と付き合うことを反対された事のあつた青年が、部落で育った彼女と幾多の困難を乗り越えて幸せな結婚をするまでの道のりを二人で伝えていく活動を紹介していました。重いテーマではありましたが、若い二人が差別と向き合い周りの人たちを変えていく経緯をその時々感じた想いと、ともに有り体に、しかも明るく語る姿には多くの共感を呼び周りに広がっていき、この家族、職場、地域に感じられたいました。DVDの後には山岸様より差別の背景や法制度に触れて解説していただき、最後に瀧澤様より差別用語とされる部落という言葉は中国の古典から引用された人の集まりを表す言葉であり近代以降に全く違う意味で使われるようになった経緯をお聞きし、正しい理解が必要だとお言葉をいただき、自分ごとと捉える機会になったと思います。

### 公民分館役員研修会に参加して

分館社会部 小林 充代



去る11月4日(日)、秋晴れの心地よいお天気のなか、公民分館役員研修会が行われました。今回の研修は、上越市から妙高市にかけて、海の生物の魅力に触れ、更に周辺の歴史・文化を学ぶ

目的で、塩川を出発しました。暖かく穏やかな日、遠くの山々も澄みきった青空に映え、そんなマイクロボスからの眺めを楽しんでいると、最初の目的地である6月にオーブンした上越市立水族博物館「うみがたり」に到着しました。近代的な外観に吸い込まれるように中へ。まずは最上階の3階へ。雄大な日本の海の色を眺めながら、手前の大水槽で泳ぐ魚と一緒に楽しめる空間になっていました。2階へ下りると大水槽に設けられた360度アク

### 「楽しく体を動かそうよ大会」

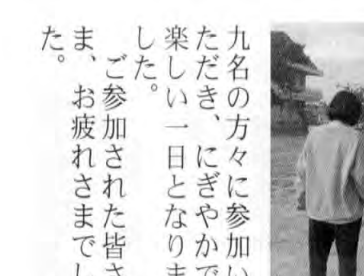
分館体育部 田子 香

去る十一月三日(土)、さわやかな秋晴れの中、日野小学校体育館・グラウンドにて「楽しく体を動かそうよ大会」が行われました。午前中は体育館にてカローリング、スマイルポクアウト、キットクアゲットの四種目、グラウンドでは、グ

種目、計五種目を、五つのチームに分かれて順番に行い、みなさんで声援を送りあい楽しく競技を行いました。当日、朝は寒かったですですが、次第に暖かくなり、体を動かすにはいいお天気になりました。午後からは公会堂にて懇親会を兼ねた表彰式が行われました。



各種目や総合成績のほかにも、たくさん賞があり、優勝者には一言ずつコメントをいただきました。小さいお子さんからご年配の方まで五十



九名の方々に参加いただき、にぎやかで楽しい一日となりました。ご参加された皆さま、お疲れさまでした。

リルガラスの水中トンネルがあり、日本海に生息する50種もの魚たちが歩いているような神秘的な空間でした。人懐こいシロイルカやすぐ近くを歩くマゼランペンギン：その可愛さでずっと見ていた気が抑えきれないから、安寿と厨子王の供養塔へ向かいました。親子が引き離された背景を想いながら手を合わせました。そして、春日山山腹にある春日山神社へ。急な階段15段を駆け上った先に上杉謙信を祭神に祀ったがっしりとした神社がありました。参拝を終え、紅葉を楽しみながらバスは妙高市へ。「休暇村 妙高」で懇親会が行われ、美味しい



お酒と地元素材を使った料理に舌鼓し上がりました。展望温泉で体を癒したり、買い物を楽しんだり、忙しい日常からちよつと解放されたひとときでした。岡田主事の安全運転で、晩秋の役員研修を満喫し、親睦も深まり大変有意義な一日を過ごせたことに感謝いたします。

### 塩川リリ一日記

皆さんこんにちは。89組の山崎桂子さんからバトンを受け取りました104組の塚田由実です。我が家は、夫婦、大学生の娘、高校生プードルの4人と1匹の家族です。塩川に住み、子育てを通じて地域・学校とかかわってきました。

子どもの成長を身近で感じながら、感動したり笑ったり泣いたり笑ったり：今度は親として小学校から改めていろいろな事を学ばせてもらいました。その中で沢山の出会い、ふれあい、感動もありました。ある大雪が積もった夜、塩川の友人たちと飲みに出かけ、シンデレラタイムに皆で一緒に歩きながら家に向かいました。ある友人の家に着き「おやすみ」と手を振り、家に入るかと思いきや、なんと雪かきを始めました！「どうしたの？」とたずねると「新聞屋さんこの雪じゃ大変だからー」と、寒い中せつせつと玄関までの道を作っている。私はほろ酔いの中、更に心まで温かい気分になりました。こんな日常の中さりが、人と人との繋がり、大切さを感じさせてくれます。感謝です。彼女の特技は「真夜中の雪かき」です。104組 塚田 由実

### 編集後記

平成30年の分館活動も大勢の区民の皆様にご参加、支えていただき、おかげさまで無事終えることができました。1月から加わって活動が始まりました。分館活動は住民の皆様が大勢ご参加いただくことで、お互いの交流を深め、より活気のあるものになります。来年も一人でも多くのつながりが増えることを切に願っております。どうぞ平成31年も皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。至らぬ点が多々あったかと思いますが、一年間誠にありがとうございました。

